資料１

２０２４年度　町田市総合防災訓練の実施について（案）

「まちだ未来づくりビジョン 2040」のまちづくり基本目標として掲げる「**みんなが安心できる強いまちになる**」の達成に向け、「**ひと・まちを災害に強くする**」ことを目的とし以下の訓練を実施します。

【まちだ未来づくりビジョン２０４０の基本目標】

政策９　みんなが安心できる強いまちになる

なりたい姿：大規模災害などがあっても、みんなが協力し合い、乗り越えようとする連帯感が生まれています。

施策 9-1　ひと・まちを災害に強くする

なりたい姿：市民一人一人が、災害に対して備えるとともに、地域における防災活動に参加することで、地域が一丸となって災害に対応する体制が整っています。

達成に向けて

【町田市の災害対応における現状と総合防災訓練の目的】

現状①　自主防災活動実施率

92.9%（2021 年度）▶ 93.6%（2022 年度）▶ 100%（2031 年度）

▼

目的①　防災を担う人づくり

現状②　災害など非常時に対して備えている市民の割合

88.7%（2021 年度）▶ 89.5%（2022 年度）▶ 100%（2031 年度）

▼

目的②　自助・共助の推進

現状③　防災関係機関との連携

感染症等により中止・規模縮小（2019~2022 年度）▶ 防災関係機関との連携の再確認（2023 年度）

▼

目的③　防災関係機関との連携強化

現状④　地域防災計画の修正

地域防災計画修正完了（2023 年度）

▼

目的④　町田市版 BCM の推進

【総合防災訓練の目的に紐づく訓練】

目的①　防災を担う人づくり

将来の防災の担い手づくりを進め、地域のリーダーとなる人材の確保・育成を推進します。

目的②　自助・共助の推進

災害時の助けとなる割合は、自助 70%、共助 20%、公助 10%と言われており、自助・共助の意識の向上を推進します。

目的③　防災関係機関との連携強化

震災は行政のみで対応できるものでなく、町田市全体で連携した対応が必要です。

目的④　町田市版 BCM の推進

２０２３年度に地域防災計画の修正をしたため、その実効性を確認し、次回修正につなげるための訓練を実施する必要があります。

	訓練名（実施時期）	内容	目指す成果	備考
1	**防災フェスタ**（11 月 2 日（土））場所：町田シバヒロ	若年層をメインターゲットとした体験型の防災普及イベント	「楽しい」に重点を置いた体験型の防災イベントを実施することで、若年層を含めた幅広い年齢層が防災に興味を持つようになる。	協定締結事業者を含む防災関係機関の参加を見込む
2	**防災教育**（通年）	『まちだ防災カレッジ』(※1) を通じた消防団や自主防災組織が参画する防災教育	自らの安全を守る能力を幼い頃から継続的に育成を行い、将来の防災の担い手となる。	※1：誰しもが防災リーダーとして活躍できるよう「まなぶ」、「とりくむ」等の講座を発信する事業
3	**アウトドア×防災**（7～9 月、1～3 月）	『まちだ防災カレッジ』を通じた「アウトドア」と「防災」を組み合わせた「アウトドア×防災」（※2）（在宅避難や地域における屋外避難の新しい手法）	男女共同参画の視点から、女性や子どもが積極的に参加しやすく、かつ、楽しく学べる「アウトドア×防災」を浸透させることで、誰もが防災リーダーになれる。	※2：アウトドアの知識を生かした、災害時の行動や避難生活の心得など
4	**避難施設開設運営訓練**（通年）	自主防災組織、避難施設指定職員、学校関係者による避難施設開設運営訓練	避難施設の開設・運営手順が確認され、学校関係者、市指定職員及び自主防災組織との連携が強化される。	—
5	**震災図上訓練**（10 月予定）	災害統括班と防災関係機関（※3）による震災図上訓練	防災関係機関の連携が強化される。	※3：自衛隊、警察、消防の参画を予定
6	**調達・輸送業務連携訓練**（11～1 月）	物資調達・輸送調整等支援システムを活用した調達・輸送に係る業務連携訓練	これまで無線等での運用が想定されていた調達・輸送業務において、新たに導入されたシステムの活用を行い、業務が効率化する。	—
7	**震災対策部訓練**（5～3 月）	地域防災計画の所掌事務等に基づく各対策部による災害活動訓練	各対策部の所掌事務の確認を行い、地域防災計画の実行性が検証される。	—

まちだ防災カレッジ